

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（上岸・前山区）
- 2 会議日時 令和4年12月14日（水）午後7時から午後8時35分まで
- 3 開催場所 上岸地区集会所
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 上岸・前山区 参加住民14名
 - (2) 執行機関 町長 藺田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
(出席課長) 総務課長 山田、社会教育課長 大村、議会事務局長 澤口
(書記・庶務) 教育総務課長補佐 松本、健康福祉課室長 長島
総務課主幹 芹澤、社会教育課主幹 鈴木
(その他の職員) 総務課室長 向島
- 5 内容
 - (1) 行政からの報告（町長・副町長・教育長）
 - ・これまでの取組と今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した情報サービスの向上
 - ・町の教育方針について
 - (2) 町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - (1) 事前の質問に対する回答等
 - (問) 国道362号馬路トンネルの進捗状況は。いつ頃開通するのか。
 - (答) 現在、未開通部分は延長1.5kmとなっていて、未開通部分の内、トンネル1箇所、橋梁4箇所は完成しています。残りの1橋219mが現在工事中となっており、順調に進めば2020年代中期ごろの開通予定と島田土木事務所から聞いています。

 - (問) 川根本町の人口は減少している。町長として将来どうなっていくと考えているのか。
 - (答) 何も手を打たなければ減少の一途をたどってしまいます。公約に掲げていますが、移住・定住にデジタル化を含め、地域内外のマンパワーをフル活用していきます。また、企業誘致もこのような環境ならまだまだできると考えています。
 - (2) 意見交換
 - (住民) 役場の職員数が他市町に比べて多いという記事を見た。役場の職員が多いことをどう考えているのか。また、デジタル化の推進との関連はどのように考えているのか。
 - (課長) 2町が合併し、一時的に職員数が増えました。現在、出先機関も含め、職員数は151名で、合併当初から18%減少しています。
 - (副町長) デジタル化は職員数を減らすためではなく、住民サービスの向上の

一つの取組みとして進めています。今後はデジタル化の効果として、職員数の削減につながればと考えています。

(住民) 教育長より、町の財産・人・もの・ことをまるごと学校へという説明があった。具体的にどういうことか。

(教育長) 学校はこれまでも地域の力と結びついた教育を進めていますが、今後も地域に詳しい方と子供達が交流し、様々なことを学べるようにします。また、学校と地域社会の連携をさらに強めていきたいと考えています。

(住民) 「もの」とは何を指すのか。

(教育長) ものにも色々ありますが、文化や産業を指しています。例えば文化会館がどんなことを行うところかを学びます。地域から色々なものがあることを学ぶということです。

(住民) 学校再編について、非常に生徒の数が少なくなっている。教育をやっていく上で、競争や他の人とのつきあいは大事だと思う。端末（タブレット）の学びは、学習の本質でなく、先生から説明を受けて学習をしていくのが筋と思う。学校については決まったことであるが、バスを利用して一つにしてやっていけばと思う。

(教育長) 本川根学区では児童生徒数が70～80人の規模となります。小学1年～中学3年までが9年間の中で1つの校舎で学ぶため、縦割りでの交流も期待できます。また、少人数だからこそ、一人一人が様々な役割を果たす環境となり、体験を通して鍛えられます。11月の本川根小中合同運動会では、小中が競い合って、いい姿を見せていると聞いています。人数は少ないが、より濃厚な人との交流・関わりができていますと考えます。また、再編後の町内2校同士の交流も深めていきたいと考えています。

行政も学校をサポートします。ぜひ子どもたちとふれ合いをもっていただけるとありがたいです。

(住民) コロナ補助で、携帯電話を利用したの買い物に行ったが、次の段階に進めず、役場で機種によってはできないものがあると聞いた。プレミアム商品券の発行も始まるが、現金がないと利用することができない。まとまった現金がなくても利用できる商品券等発行できないか。

(課長) LINE クーポン、プレミアム商品券は、コロナ対策の交付金を活用しているため活用には国の審査があり、認められた事業のみが活用できるようになっています。金券のような形ではできないため、ご理解いただきたいと思います。

(住民) 野菜等をJA（まんさいかん）に出品しているが、出荷量が多くないため、配送に係る費用の負担が大きいと聞いた。補助等が行えないか。また、農業収入の申告について、個人の場合にも人件費を控除できるとありがたい。これらを加味して、国へあげてほしい。

(課長) 配送に係る費用負担補助については、本日担当がいないため、区長を

通して後日伝えます。申告については、制度上、町ではできないため、意見があったことを税務住民課に伝えておきます。

(住民) 有志で簡易水道とは別に水道を引いている。林道を歩いていくのに山が崩れている。砂防林など整備ができないか。

(課長) 現場を見てみないとわかりませんが、町の管理ではない道路になると思われます。どういう整備ができるか、1月以降、担当が確認させていただきます。

(住民) 大井川鐵道の復旧の進捗状況と、町の考えを教えてください。

(町長) 大井川鐵道復旧については、大井川鐵道、国、県、島田市、中部電力と話し合いをしています。町としても千頭までの開通を強く望んでおり、国県にも支援を要望しています。いつまでに復旧できるか現時点では答えられませんが、全線開通をめざして復旧に向けて動き出している状況です。

(住民) 長島ダム整備に伴い、静岡市への道路整備計画（バイパス）があったが、その後どのようなになっているか。

(町長) 町内における静岡市までの道については整備が進んでいるが、静岡側においては進んでいない状況であります。期成同盟会は続いているので、静岡市との関係、連携を結び付けながら進めていきます。

(要望) 台風 15 号を教訓としたい。午後 10 時頃に避難情報発令がでたが、夜遅く、又大雨が降る中での避難は困難である。避難情報の発令は、気象庁の判断はあると思うが、累積降水量と時間雨量を基に町で予測して、日没までにできないか。

(町長) 避難情報等の発令等、課題が多いことも理解しています。避難情報については、予報で分かる部分もあるので、体制の中で、より早い段階で出せるようにしていきたいと思います。

(要望) 広域避難所が本川根中学校となっている。広域避難所としての施設として存続してほしい。

(町長) 学校再編に係る施設利用については、利活用検討委員会を立ち上げて検討していきます。総務課が担当しますが、その中で方向性を示していきたいと思います。

(要望) かわねフォン等でのアナウンスについて、道路の規制等の情報について、路線名で規制箇所が放送されるが、どの地区のどの道かがすぐに分かる放送に工夫できないか。町民に優しい、地域に密着したアナウンスをお願いしたい。

(町長) 分かりやすい情報提供に心掛けます。地域名を入れて「～間～間」が通行止め」等、具体的に伝えていくようにしていきます。

以上